

東北工業大学と国土交通省東北地方整備局との連携・協力に関する協定 について ～ 復興から地域づくりへ連携強化 ～

1 協定の内容

長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、より緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図る。 具体的には、

(東北工業大学)

教育・研究 及び **地域社会・地域の産業への貢献** (地域づくり) について

(国土交通省東北地方整備局)

社会資本の整備・維持管理の推進による強靱な国土づくり について

相互に連携・協力し、国土の防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的とする。

2 協定の特徴

2-1 地域の産業への貢献・・・「地域社会」の一部あるが、明文化

東北工業大学の建学の精神及び理念・目的の一部 (学則にも明記)

(1)業務に関わる支援

東北工業大学は多くの実績あり → 4を参照

新技術創造研究センター 関連

復興大学 地域復興支援ワンストップサービス事業 関連 他

「復興からの地域づくりによる地域の産業支援」の活動も顕著



国土交通省東北地方整備局の協力を得て、より一層推進

(2)人材育成に関わる支援

防災や社会資本の整備・維持管理を担い地域を支えていく人材の育成

東北工業大学は、**土木、建築、環境・エネルギー**の各分野にそれぞれ**独立した学科**を有する。その東北工業大学の特徴を活かし、

①既に「地域の産業」に従事する方々及び当該企業への技術力・知識・能力アップに対する支援の実施

②「地域の産業」への従事者増加を目的とした、本学学生の教育に対する、国土交通省東北地方整備局からの協力

(例) 工学部都市マネジメント学科 (土木系学科)

平成 25 年度卒業・修了予定者 52 名中 49 名が建設関連(官公庁含む)へ就職
震災直後の地域の建設業の活躍・貢献等を、学生に説明

③「地域の産業」への従事者の卵の獲得 (地域社会の持続的発展に不可欠)

(例) 将来的に人材不足が予想される「土木技術者」を確保する上で必須となる「土木工学」を学ぶ専門高校・大学等への進学を促す目的で、小学校・中学校・高等学校等に対する「土木」のPR活動での連携・・・建設業関連団体とも連携

(東北工業大学は、土木系と建築系の学科が独立しており、学科単位の組織的なPR活動が容易に可能)

*東北工業大学工学部都市マネジメント学科に関わる学生・土木技術者・教員 → 「東北工業大学 時空人」(JICOOJIN)

時間、空間、人間(じんかん)を巧みに操る人・集団・組織

2-2 社会資本の整備・維持管理の推進

・東北大学(インフラマネジメント研究センター)、東北学院大学をも含む連携により、国土交通省東北地方整備局への協力を強化

3 今後の東北工業大学の動き

・**地域連携センター**の設置(4月1日より)

本学が培ってきた研究資源を活用するとともに、地域と連携し実施する地域振興、産業振興、人材育成等の実践的活動を支援



地域の産業支援を通して地域づくり・人材確保がなされ、防災機能の向上と地域社会の持続的発展に寄与できる

・国土交通省東北地方整備局からのデータ提供による各種研究の推進

(例) 橋梁の長寿命化に寄与する研究 他

・一番町ロビー等を活用した、国土交通省東北地方整備局の活動等のPR支援 他

4 東北工業大学における「地域づくり」の主な活動実績

(国土交通省東北地方整備局との連携により、活動の一層の活発化が期待できる活動も多い)

4-1 新技術創造研究センター

①震災後に立ち上げた地域復興共同プロジェクト(H23:17プロジェクト)

被災した地域社会・地域の産業との共同での幅広い支援活動

(例)・気仙沼市南町および南町海岸復興プロジェクト

・建築学科復興支援室を核とした継続的地域再生支援プロジェクト

・宮城の地場産品復興支援「手のちから」プロジェクト 他

②せんだい創生プロジェクト(H25:10プロジェクト)

実践的なプロジェクトチームを編成し、せんだい地域の産業や文化への貢献を目指す

(例)・駅と周辺施設をつなぐ情報提供を行うモバイルアプリケーション

・東西線駅周辺まち歩きマップ作成ワークショップ

- ・八木山プロジェクト、仙台城址から動物公園までの遊歩道計画 他
- 4-2 復興大学 地域復興支援ワンストップサービス事業（主幹大学）

復興大学（責任大学：東北工業大学）内に設置

地域や企業の中長期課題についてはプロジェクト化を推進

（例）・塩釜新浜地区水産団地の地盤沈下対策プロジェクト

- ・点検ロボットによる損傷劣化診断システムの開発

- ・石巻市雄勝地区地域再生プロジェクト 他

以上